

ふまじゅ草の会だより

恒寿草の会
愛川町介護者の会
第138号
平成29年3月7日
連絡先 愛川町社会福祉協議会
TEL 046(235)2111



インフルエンザが猛威を振ったようです。皆様は大丈夫だったでしょうか？
前回のつどいの場で、ハグする(愛情を込めて抱きしめる)ことの大切さの話が出、自分自身を抱きしめる「パタフライハグ」(右図)という方法を知りました。確かに、気持ちさが落ち着きました。皆様も、一度試してみてください。手の平を少しパタパタと動かします。



3月のつどいは
3月21日(火) 11:30
15:00
親睦の食事会と
施設見学に行きます

- ▶ 集合時間 11時半
- ▶ 場所 春日台バーミヤン
- ▶ 会費 1000円(当日集めます)
- <会食> 11時半～13時半
- <施設見学> 14時～15時
- 見学場所 (車で乗り合いです)
- ・フオロライフ愛川(中津) お泊まりデイ・サービス
- ・デイサービス 健康ハーブデイ愛川 半日のリハビリデイ (中津)
- 久しぶりの小規模施設見学です。申し込みは、18日(土)までに役員まで又は小沼(285-4166)

認知症講演会
介護講話
「ふまじめ介護」
～日頃の介護のヒントに～
講師：田辺鶴英氏

- ▶ とき 3月13日(月) 13:30～15:30
- ▶ ところ 厚木市総合福祉センター 6階ホール
- ▶ 参加費 無料 申し込み 不要
- ▶ 厚木市認知症を抱える家族 すみれ会の主催です。
- ▶ 講師は実母の3人の介護を体験し、自ら介護職員として特養ホームで働く講師 鶴英さん。とすると深刻になりかちな介護の話題を「笑いながら、考えてもらうきっかけに」と。
- ▶ バスで厚木終点です。場所のわからない方は、ご一緒します。役員までご連絡下さい。

在宅医療推進講演会 1月28日 会員6名参加
このまちで 最期まであなたと暮らそう!

会場にあふれるほどの参加者。関心の高さが伺えました。
① まず、ミノワホームケアマネジャーの小澤妙子氏から、ミノワホームの概要と、氏が担当し、在宅で看取りをした3名の方の事例のお話がありました。
その中で、小澤氏は、介護者の不安を除くこと、ご本人の望みをかなえて安心して暮らしてもらえるようにすることに留意し、医療・看護・介護の連携が大切と、話されました。
② 次に訪問看護ステーションホット北部の森住ハ知代氏から、「最期まで住み慣れた場所で暮らしたい」その思いを支援して、と題してお話いただきました。

訪問看護を利用するには主治医の指示書が必要、退院前に病院の相談室やケアマネさんに相談をして下さい、とのことでした。
在宅での看取りの具体例も話されました。
③ 最後に、ハ木クリニックハ木健太郎氏から「医療・介護は地域を幸せにする」と題して、週1回在宅診療を行い、自宅での看取りも行っている経験から、患者さんの最期まで自宅で、という希望をかなえるために、地域包括ケアシステム(医療・看護・介護の連携)の構築に向けて、窓口を作って行きたい。愛川町なら出来る!という力強い言葉で、締めくくられました。

ホット北部の紹介、訪問看護の具体的な内容(食事・栄養・排泄・清潔・入浴等の指導・管理・援助など、全身状態観察、じゃくそうの予防・処置、リハビリ、薬や介護の助言、精神的支援他)→

1月のつどいから
1月17日 12名の参加で、情報交換、話し合いを行いました。
いつのまにか、町内に、小さなデイサービスがたくさんできています。
3月に、見学に行きます。ぜひ参加を。正月休み中家において、徘徊が始まり、大変だった。早くデイや泊まりに行くとと思うが、そんな自分がイヤだ...

つぶやき
なんだか変だあ～
今の私は頭のネジがはずれ、思考はOFのまま。修理不可能です。新品との交換は無理なので、このまま生きるしかありません。従って、理解と記憶不能の事柄は全て放棄し、努力は休止すると決めました。
よかつたあ～ラクチンだあ～
まるで心の中で名指揮者が、歌え踊れと、タクトを振っているみたい。
(人さまは、こんな私を躁うつ病または認知症とおっしゃる? まあいいや)
でも、どこかで人生の最終ラウンドのゴングが聞こえた気がします。
あれえ～ まだ戦うの?～
高く飛び、何かにしかみつこうと腰を低くしただけなのに、尻もちついて立ち上れない。
やっぱり変だあ～
ねえ 認知症のあなた見た? こんな私を。(T)